

団体名	持続可能な地域交通を考える会 (SLTc)
事業名	自転車の安全な利用促進事業

<p>目的・背景</p> <p>通勤通学や買い物に、業務に、自転車に乗っている方は多いと思いますが、自転車のルールは誰から習いましたか？身近な人から教わった方が多いと思います。</p> <p>自転車のルールを教えるプロの指導者は非常に少なく、家庭では保護者の方、学校では生徒指導の先生、企業等では総務担当の方など、ルール指導の専門家ではない方々が、指導的立場に立つことが一般的です。</p> <p>そこで当会では、そうした方々にも手軽に使っていただける教材『自転車ルール教本』を提供しています。さらに今年度は、ルール研修会を開催しました。</p>	<p>事業の効果</p> <p>「交通ルールならもちろん知ってるよ」「運転免許を持っているから大丈夫」「交通ルールの解説なら警察のホームページを見ればいい」といった声も聞かれます。ところが、ITARDA（警察庁の外郭団体）の分析によると、自転車事故は運転免許保有の有無にあまり関係なく起きていることが示されています。</p> <p>私たちの『自転車ルール教本』は、交通ルール指導のプロである自動車学校教官の監修により、基本的なルールをしっかりと押さえた上で、道路を安全に走るためのノウハウも紹介するなど、利用者目線に立った内容になっており、分かりやすいと好評を頂いています。</p>
<p>実施結果</p> <p>高津区役所（地域安全担当）と協力し、高津区内の企業や自治会などに出掛けて研修会を行ったり、教材『自転車ルール教本』を配ったりしました。教材の配布数は年度内市内で計5000冊ほど。人口150万人のわずか0.3%ではありますが、関心の高い企業や自治会等の皆さんにルールを再確認していただくことができました。</p> <p>高津区役所では、区内の企業や町会・自治会などを対象に「自転車ルール出前講座」を実施していますので、区内の方はぜひご利用ください。</p> <p>⇒ 高津区 自転車ルール出前講座 <input type="button" value="検索"/></p>	<p>事業の課題と今後の展望</p> <p>1年間で500名以上の方々に受講していただくことができました。でも、川崎市の人口150万人、うち日常的に自転車を利用している方が16%（代表交通手段分担率より）としても、24万人。多くの市民にとって欠かせない交通手段になっている自転車だからこそ、私たち市民団体だけでは到底力が足りません。</p> <p>2016年末には国会で「自転車活用推進法」が成立し、川崎市でも自転車ナビラインなどの整備が進みはじめています。健康的で、環境にもおサイフにもやさしい乗り物である自転車を安全に使うためには、皆さんが自ら指導者になって、身近な人に自転車のルールを教えられるようになってください。</p>



教材『自転車ルール教本』



企業での出前講座の様子



市内でも「自転車ナビライン」などの整備が進んでいます（写真は市民活動センター前）